

## 産地情勢 (2021.7.14)

### ブラジル産とうもろこし

ブラジル国家食糧供給公社は2020/21年産とうもろこしの生産見通しを96.3百万トンから更に引き下げ、93.3百万トンと発表した。

原因は中部の90年ぶりの干ばつと作付け遅れによるサフィ・コーンの減産で、収穫はまだ20%しか終了していない。(7月13日)

ブラジルのサフィ・コーンは3重の負の要因が重なった。歴史的な作付け遅れ、歴史的な干ばつ、そして今ブラジル南部とパラグアイが20年に1度の寒波に襲われている。とうもろこしの生産量に更に悪影響を与える見通し。(7月6日)

クロープカレンダー		作付期	受粉期	収穫期	割合	特徴
フルシーズン・コーン (夏作)		8-9月	11-12月	2-5月	22%	主に国内飼料需要向
サフィ・コーン (冬作)		1-3月上旬	4月	6-8月	76%	輸出の中心 大豆収穫後に作付

### ブラジル産大豆

ブラジル国家食糧供給公社は2020/21年産大豆の生産見通しを更に0.4百万トン引き上げ135.15百万トンと発表した。(4月9日)

作付遅れと2月の多雨で大豆の収穫進捗率は85% (平年84%) (4月13日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロープカレンダー	9月-12月初め	1月	1月-4月

### アルゼンチン産とうもろこし

収穫は23%進捗した。(平年32%) 品質は優良が44%と先週より3%改善した(5月12日)。

アルゼンチン穀物取引所は2020/21年産の生産量を変更せず4550万トンと発表。乾燥気候が長引くことと早霜の懸念が残っている。(4月7日)

備考	作付期	受粉期	収穫期

作付は2段階に分かれる。	9-11月始め	12-1月	3-4月
	12-1月	3-4月	6-7月

#### アルゼンチン産大豆

収穫は33%進捗した(平年56%)。品質は優良が9%。(5月5日)

ブエノスアイレス穀物取引所は、2020/21年産の生産量を4300万トンと発表し先月の予想より百万トン引き下げた。(4月14日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロップカレンダー	10月-1月中旬	2月	3-6月

#### 米国産とうもろこし

今月は中西部で乾燥気候が多く、品質は優良が65%と1%改善した。(7月13日)

#### 米国産大豆

品質は優良が59%と先週から変化なし。(7月13日)

以上、Soybean and Corn Advisor, Inc. Farm Progress Agprofessional より

#### 米国農務省生産量予測(7月12日)

##### とうもろこし

(百万トン)

	2019/20	2020/21	2021/22
米国	346.0	360.3	385.2
ブラジル	102.0	93.0	118.0
アルゼンチン	51.0	48.5	51.0

2020/21年度末の米在庫率は飼料需要が増加し、7.19%と更に下がった。2012/13年度の7.4%を下回る水準。

米国の21/22年度の実産量は作付面積の増加で4.4百万トン上方修正。

ブラジルの20/21年度の実産量は乾燥気候で先月より更に5.5百万トン下方修正。

逆にアルゼンチンは1.5百万トン上方修正。

##### 大豆

(百万トン)

	2019/20	2020/21	2021/22
米国	96.7	112.6	119.9
ブラジル	128.5	137.0	144.0
アルゼンチン	48.8	46.5	52.0

2020/21年度末の米在庫率は搾油量を下げて2.97%に0.01%引き上げたが2013/14年度の2.6%以来の低水準。

アルゼンチンの 20/21 年度の生産量は乾燥気候で先月より更に 0.5 百万トン下方修正。